

平成22年度「全国学力・学習状況調査」における 国東市の現状と今後の改善に向けて

調査の目的

- 本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が全国的な状況等の関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等を図る。

調査結果の取扱い

- 競争を目的とするものではなく、全ての子どもたちの学力や生活状況を把握し分析することにより、その改善を図るものとする。
- 学習指導要領に示す内容がどの程度身についているかを把握するものであり、対象になる学年や教科、出題範囲が限られている。
- 本調査により測定できる学力は、その一部であり、学校における教育活動の一側面を示すものである。
- 生活習慣や学校環境と学力との関係も分析し、そのデータをもとに改善につなげるものである。

調査実施日

- 平成22年4月20日(火)

調査対象児童生徒

- 小学校6年生(抽出校7校:104名、希望校7校:175名)
 - 中学校3年生(抽出校3校:257名、希望校1校:25名)
- *今年度は無作為抽出調査(全体の40%程度)により実施した。(抽出されなかった学校は希望により検査問題は配付されるが、採点や検査結果分析等は対象外となった。)

調査事項

- 国語A(主として「知識」に関する問題)
- 国語B(主として「活用」に関する問題)
- 算数・数学A(主として「知識」に関する問題)
- 算数・数学B(主として「活用」に関する問題)
- 児童・生徒質問紙(生活習慣や学習環境等に関する調査)

国東市の取組

今年度実施された「全国学力・学習状況調査」では、小学校において国語Aと算数Bが大分県の平均正答率に達していません。また、中学校においても大分県の平均正答率には達しているものの、全国の平均正答率に達しているのは数学Aのみという結果でした。

今回の調査は全国で40%程度を無作為抽出したものであるため、国・県とも平均正答率に一定の幅を持たせてあります。国東市でも小学校で7校(14校中)・中学校で3校(4校中)の抽出による実施となりました。(他の学校も全て希望があり検査は実施しましたが採点・分析は抽出校のみとなっています。)

国東市教育委員会では、これらの調査結果を分析し、明らかになった成果や課題、今後の改善方を公表することにより、学校教育への一層の理解と、学校・家庭・地域の果たすべき役割を再度認識し、一体となって子どもたちを育てる意識を持ちたいと考えています。

学習面では、知識等の基礎的な内容を7割、活用等の応用的な内容を6割以上の正答率を目指します。また、生活面では、項目毎の表の中に目指すべき方向として目標値を位置づけています。

これからも、学校教育に携わる全ての方々とともに、質の高い教育活動を創造することをとおして、本市の子どもたちに知識・技能のみならず、学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力など「確かな学力」「生きる力」の基盤となる「豊かな心」「健やかな体」の育成に努めていきます。

1. 学習面の実態及び課題

(1) 小学校6年生「平成22年度全国学力・学習状況調査」より

国語 知識A				国語 活用B				算数 知識A				算数 活用B				
正答率	全国	大分県	国東市													
83.5	83.5-83.2	82.8	81.4	78.0	78.0-77.7	77.2	76.2	74.3	74.3-74.0	73.1	72.3	49.5	49.5-49.1	48.9	47.1	
83.2				77.7				74.0				49.1				
82.8				77.2				73.1				48.9				46.8
81.4				76.2				72.3				47.1				46.8
80.2				75.3								46.8				
抽出校 7/14校	83.5-83.2	82.8-81.4	80.2	抽出校 7/14校	78.0-77.7	77.2-75.3	76.2	抽出校 7/14校	74.4-74.0	74.3-72.3	73.1	抽出校 7/14校	49.5-49.1	48.9-47.1	46.8	
抽出児童	104/279名			抽出児童	104/279名			抽出児童	104/279名			抽出児童	104/279名			

<国語における課題・改善策>

知識 目的や意図に応じて簡単に書いたり、指示語や接続語を適切に使う指導をする。

知識 登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読む指導をする。

活用 考えたことや自分の意図が分かるように話の組み立てを工夫し、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話す指

<算数における課題・改善策>

知識 場面から数量の関係を捉え、除法を用いることができるようにする。

活用 図形についての観察や構成などの活動をととして、平面図形についての理解を深める指導をする。

活用 百分率や円周率の意味について理解し、それを用いることができる指導をする。

(2) 中学校3年生「平成22年度全国学力・学習状況調査」より

国語 知識A				国語 活用B				数学 知識A				数学 活用B				
正答率	全国	大分県	国東市													
75.2	75.2-75.0	74.5	73.8	65.5	65.5-65.1	64.9	63.8	64.8	64.8-64.4	63.4	61.5	43.5	43.5-43.1	42.2	40.8	
75.0				65.1				64.4				43.1				
74.5				64.9				63.4				42.2				40.0
73.8				63.8				61.5				40.8				40.0
				63.0								40.0				
抽出校 3/4校	75.2-75.0	75.1-73.8	74.5	抽出校 3/4校	65.5-65.1	64.9-63.0	63.8	抽出校 3/4校	64.8-64.4	63.4-61.5	64.4	抽出校 3/4校	43.5-43.1	42.2-40.0	40.8	
抽出生徒	257/282名			抽出生徒	257/282名			抽出生徒	257/282名			抽出生徒	257/282名			

<国語における課題・改善策>

知識 慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意する。

活用 表現の仕方や文章の特徴に注意して読む指導をする。

活用 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、理論の展開を工夫して書く指導をする。

<数学における課題・改善策>

知識 一次関数のとる値の変化の割合とグラフの特徴を理解し、一次関数を利用できるよ

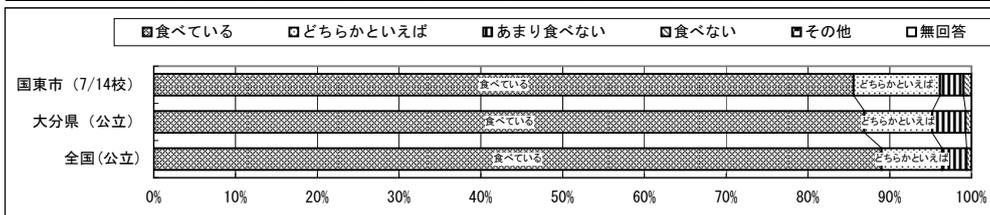
活用 連立2元一次方程式とその解の意味を理解し、利用する指導をする。

活用 三角形の合同条件を理解し、三角形や平行四辺形の性質を理論的に確かめる指

2. 生活面の実態及び課題

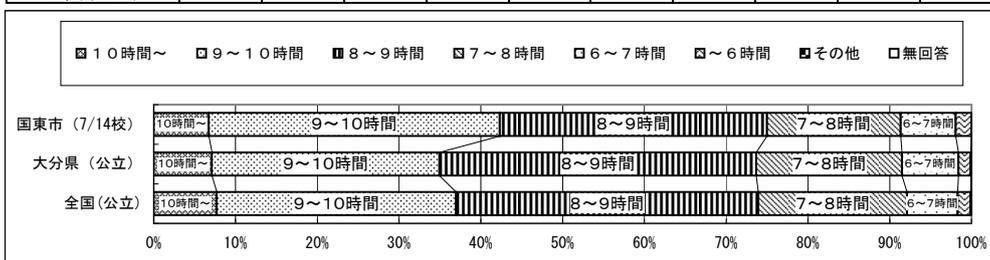
(1) 小学校6年生「平成22年全国学力・学習状況調査」より

		質問事項							
		朝食を毎日食べていますか							
選択肢		食べている	どちらかといえば	あまり食べない	食べない			その他	無回答
国東市	目標値	90	10	0	0				
国東市 (7/14校)		85.6	10.6	2.9	1.0			0.0	0.0
大分県 (公立)		86.9	8.3	4.1	0.7			0.0	0.0
全国 (公立)		89.0	7.4	3.0	0.6			0.0	0.0



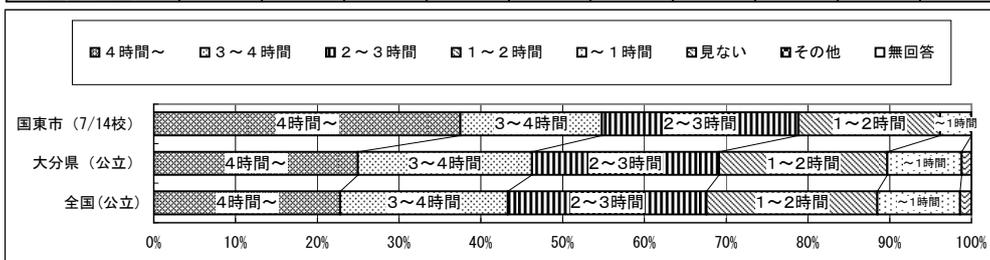
○朝食を食べている児童は全国並みにいるが、毎日食べている児童は全国・大分県よりも少ない。

		質問事項							
		普段 (月～金曜日) 、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか							
選択肢		10時間～	9～10時間	8～9時間	7～8時間	6～7時間	～6時間	その他	無回答
国東市	目標値	0	20	50	20	10	0		
国東市 (7/14校)		6.7	35.6	32.7	16.3	6.7	1.9	0.0	0.0
大分県 (公立)		7.1	27.8	38.7	17.8	6.9	1.5	0.1	0.0
全国 (公立)		7.7	29.3	37.0	18.2	6.2	1.6	0.1	0.0



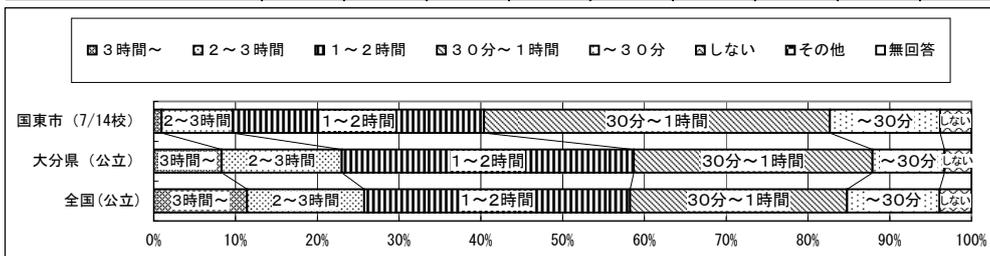
○睡眠時間を十分に確保している児童が多いが、6時間未満の児童いる。

		質問事項							
		普段 (月～金曜日) 、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか							
選択肢		4時間～	3～4時間	2～3時間	1～2時間	～1時間	見ない	その他	無回答
国東市	目標値	0	10	20	50	20	0		
国東市 (7/14校)		37.5	17.3	24.0	17.3	3.8	0.0	0.0	0.0
大分県 (公立)		25.0	21.3	22.9	20.6	9.1	1.2	0.0	0.0
全国 (公立)		22.8	20.5	24.3	20.9	10.1	1.4	0.0	0.0



○4時間以上TV等を見る児童が4割程度あり、1時間未満の児童は4%以下である。

		質問事項							
		学校の授業時間以外に、普段 (月～金曜日) 、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか							
選択肢		3時間～	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	～30分	しない	その他	無回答
国東市	目標値	10	20	50	20	0	0		
国東市 (7/14校)		1.0	8.7	30.8	42.3	13.5	3.8	0.0	0.0
大分県 (公立)		8.3	14.7	35.7	29.2	8.8	3.3	0.0	0.0
全国 (公立)		11.4	14.3	32.5	26.5	11.3	3.9	0.0	0.0

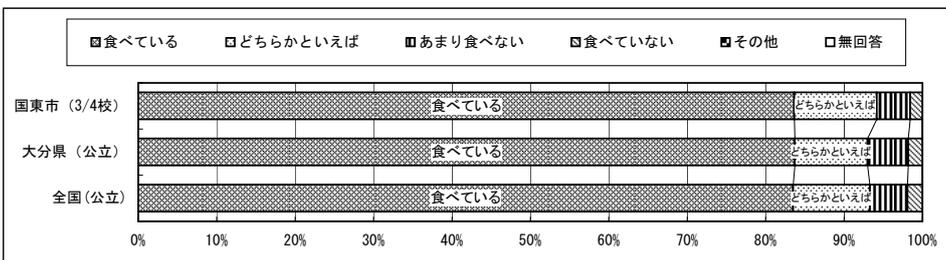


○3時間以上勉強する児童が1%程度で、1時間未満の勉強時間の児童が60%程度である。

※各数値は、四捨五入したものを記載していますので必ずしも合計が100(%)になるとは限りません。

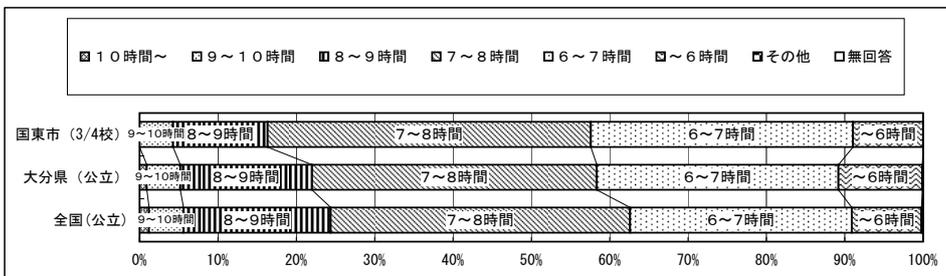
(2) 中学校3年生「平成22年度全国学力・学習状況調査」より

		質問事項							
		朝食を毎日食べていますか							
選択肢		食べている	どちらかといえば	あまり食べない	食べない			その他	無回答
国東市	目標値	90.0	10.0	0.0	0.0				
国東市	(3/4校)	83.7	10.5	4.3	1.6			0.0	0.0
大分県	(公立)	83.7	9.3	5.2	1.8			0.0	0.0
全国	(公立)	83.5	9.8	4.8	1.9			0.0	0.0



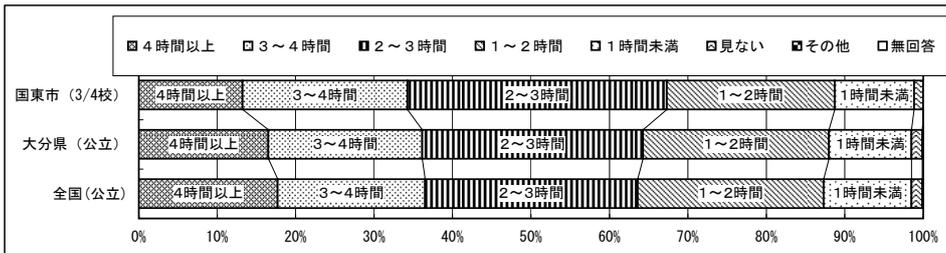
○朝食をよく食べている生徒は全国値を上回る。

		質問事項							
		普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか							
選択肢		10時間～	9～10時間	8～9時間	7～8時間	6～7時間	～6時間	その他	無回答
国東市	目標値	0.0	0.0	30.0	50.0	20.0	0.0		
国東市	(3/4校)	0.0	4.3	12.1	41.2	33.5	8.9	0.0	0.0
大分県	(公立)	0.9	4.3	16.8	36.3	30.8	10.7	0.1	0.0
全国	(公立)	1.2	4.4	18.8	38.2	28.3	8.9	0.1	0.1



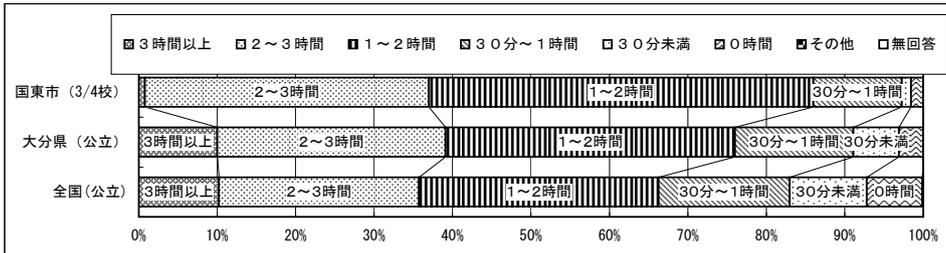
○6時間から9時間の睡眠時間の生徒が9割近くである。

		質問事項							
		普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか							
選択肢		4時間～	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間未満	見ない	その他	無回答
国東市	目標値	0.0	10.0	20.0	50.0	20.0	0.0		
国東市	(3/4校)	13.2	21.0	33.1	21.4	10.1	1.2	0.0	0.0
大分県	(公立)	16.5	19.6	28.1	23.7	10.5	1.4	0.0	0.1
全国	(公立)	17.7	18.8	27.1	23.7	11.2	1.4	0.0	0.1



○1時間～4時間TV等を見る生徒が全国値を上回る。（極端な視聴時間の生徒が少ない）

		質問事項							
		学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか							
選択肢		3時間	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	～30分	0時間	その他	無回答
国東市	目標値	10.0	50.0	30.0	10.0	0.0	0.0		
国東市	(3/4校)	0.8	36.2	49.0	11.3	1.2	1.6	0.0	0.0
大分県	(公立)	10.0	29.1	36.9	15.1	5.8	3.1	0.0	0.0
全国	(公立)	10.2	25.5	30.5	16.7	9.8	7.1	0.0	0.1



○30分～3時間までの勉強時間の生徒が95%を超えるが、3時間以上の生徒は少ない。

※各数値は、四捨五入したものを記載していますので必ずしも合計が100(%)になるとは限りません。

(3)生活面の指導ポイント

①朝食について

ア、学習効果を上げる大切な要素

- ・朝食を必ずとって登校する子どもは得点が高い傾向にある。
- ・バランスのとれた栄養摂取は成長期の脳の発達に有効である。

イ、主食とおかずを食べる朝食を毎日とる習慣

- ・家庭環境を考慮した教育的指導を行う。(食育の推進)

ウ、朝食をとる時間を考慮した起床時刻の設定

②睡眠時間について

ア、学習効果を上げる大切な要素

- ・睡眠不足は授業への集中力を減退させる。
- ・成長期の睡眠は脳を成長させる大切な時間である。

イ、規則正しい生活リズムで心と頭と体がスッキリした状態に

ウ、睡眠時間・就寝時刻のめやす

[小学校]

睡眠時間： 8時間 ～ 9時間

就寝時刻： 午後9:00 ～ 10:00

起床時刻： 午前6:00 ～ 7:00

[中学校]

睡眠時間： 6時間 ～ 8時間

就寝時刻： 午後11:00 ～ 12:00

起床時刻： 午前6:00 ～ 7:00

③テレビ等を見る時間について

ア、長時間の視聴等は疲労を蓄積させる。

- ・就寝時刻が遅くなる原因になる。
- ・他者と交流する機会を減少させる。

イ、テレビ、ビデオ、ゲーム、携帯電話、パソコン等は使用時のルールを決める。

- ・1日に1～2時間程度、使用時間帯を適切に定める。

ウ、読書に親しむ時間の設定と、読書の重要性を指導

④家庭学習時間について

ア、家庭学習を生活リズムの一つとして位置づける。

イ、家庭学習に集中できる環境づくり(時刻、時間、場所の設定等)

- ・内容や方法によって効果が異なることを指導

- ・「家庭学習の手引き」等により学び方を指導し、子ども自らが学習に取り組めるように

ウ、家庭学習時間のめやす

[小学校]

低学年： 30分 ～ 60分

中学年： 60分 ～ 90分

高学年： 90分 ～ 120分

[中学校]

1年生： 120分 ～ 150分

2年生： 120分 ～ 150分

3年生： 150分 ～ 180分

3. 「学力向上」を支える3つの柱

(1) 基礎・基本を確実に習得する

～新たに学んだ知識や技能を確実に身につけさせる～

「読み・書き・計算」など、学習を進める上で必要な力はもとより、学習活動の中で学んだ内容について十分に定着させ、活用することができるように、これまで以上に繰り返し指導や学び直しの時間を設定し、児童生徒の側に立った指導の工夫改善を図る。さらに、授業中での形成評価、授業後の自己評価・相互評価、単元終了後の観点別評価等を実施し、個の伸びや課題を的確に把握するとともに事後指導を充実させ、基礎・基本を確実に習得できるようにする。

(2) 主体的に学ぶ意欲や態度を身につける

～自分の身につけた力を確かめようとする意欲や態度、学習習慣を身につけさせる～

児童生徒が日常生活の中で、学習時間を増やす等学習に取り組む機会や場を豊かにし、進んで学習できるようにする。また、家庭においても計画的に予習や復習が行なえる環境を工夫することなどを通して、学習したことが身についたかを振り返ったり学習したことを更に深めたりするとともに、学習したことを自ら活用しようとする態度を身につけることができるようにする。

(3) 日常生活を充実する

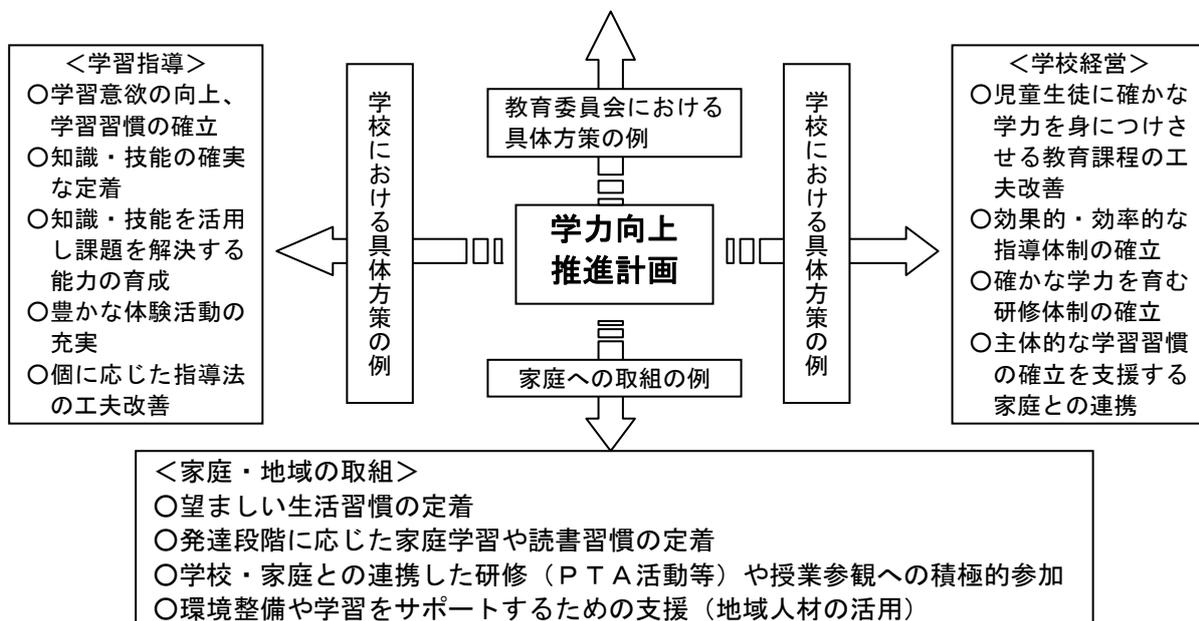
～学校・家庭・地域間で「確かな学力」について十分な共通理解を図り、児童生徒の学力や学習・生活状況を共有し、それぞれの機能を十分に発揮させる～

児童生徒の学習・生活状況について理解を深め、課題となっている点を把握し、児童生徒に身につけさせたい学力や学校が取組もうとしている方策について共通理解を図り、児童生徒の学力向上をはじめ日常生活の充実につながるよう、それぞれの役割を十分発揮できるようにする。

学力向上に向けた具体方策

<教育委員会の取組>

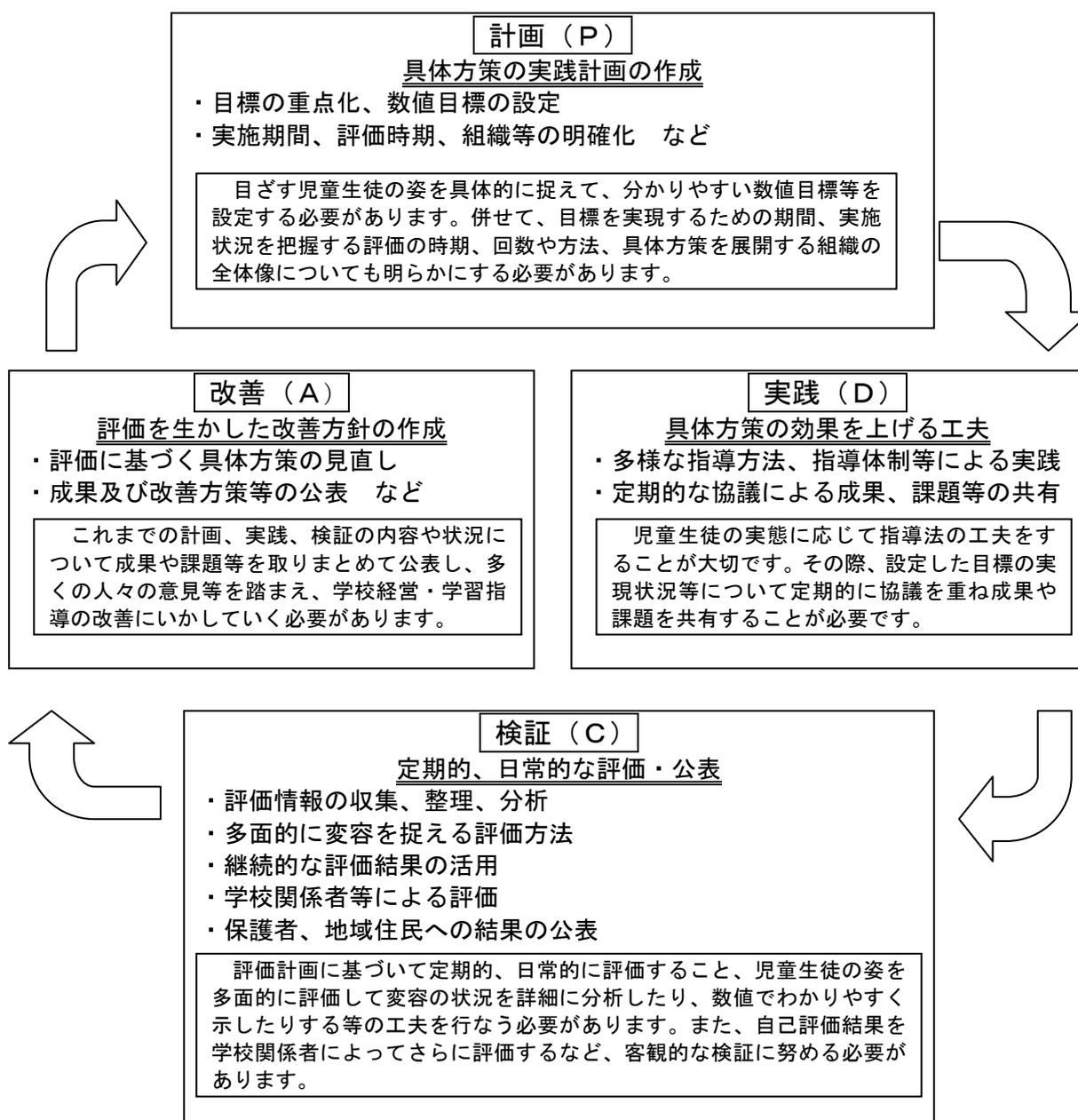
- 学校の意欲的な取組や具体的な学力向上策を引き出す工夫改善
- 学校の「学力向上プラン」を実効性のあるものとする工夫改善
- 学力向上戦略支援事業や授業力向上支援事業の研究指定を受けている国東小学校・国東中学校の取組を各学校へ紹介
- 国東市の「学力向上推進計画」を公表し、家庭や地域に児童生徒の学力を伸ばすため学校と一体となった取組を呼びかける工夫



学力向上に向けた具体方策を効果的に展開するための検証改善サイクル

各学校が学力向上のための実効性のある取組を展開するためには、その結果等を活用・分析しながらこれまでの取組の成果を検証し、課題を明らかにして改善につなげるという教育活動の検証改善サイクルを確立することが大切です。

各学校は、マネジメントサイクルの機能を発揮しながら、各種学力調査の結果を効果的に活用し、結果等の分析から明らかにした改善方策等を次のように展開して、検証改善を図るようする必要があります。



発行

国東市教育委員会 学校教育課

〒873-0503

国東市国東町鶴川 160-2

TEL 0978-73-0066

FAX 0978-73-0067

E-mail gakkou-kyoiku@city.kunisaki.lg.jp